

## 平成23年度第7回奈良市立中学校給食導入検討委員会会議録

- 開催日時、 平成23年9月1日（木） 午後6時00分～午後9時00分
- 開催場所、 教育センター8階 多目的講座室8-1
- 出席者、 **【委員】**  
菊崎会長、松山委員、宮木委員、今中委員  
(欠席者1名 石川副会長)  
**【事務局】**  
中室教育長、福岡教育総務部長、北学校教育部長、  
山口保健給食課長、武野学校給食会事務長、  
中岡教育総務課長補佐、葛和学校教育課指導主事、  
中島学校栄養職員、山本保健給食課長補佐、  
今田給食係長、吉川主任、伊藤主務
- 開催形態、 公開（傍聴人4人）
- 会議事項、
  - ・ 会長あいさつ
  - ・ 意見の聴取  
奈良市立中学校長会  
奈良市PTA連合会
  - ・ 様々な視点から、各方式の検証
  - ・ その他
- 会議資料、 特に用意せず
- 議事の要旨、
  - \*会長あいさつ  
委員の皆様には、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。  
本日も市役所を離れ、教育センターをお借りして、委員会を開催させていただきます。  
今回は、奈良市立中学校長会と奈良市PTA連合会から、それぞれ代表の方に来ていただいております。以前、アンケート調査を実施していただきましたが、今日は直接ご意見をお聞きする機会を設けていただきました。

今回のために意見集約もしていただき、ご苦勞をおかけしていると伺っております。

それでは、奈良市立中学校長会、奈良市PTA連合会より自己紹介と説明をお願いした後に、委員の方から質問をさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

・・・中学校長会（二名中学校 永保校長）からの説明・・・

○完全給食を実施するにあたっての課題など

管理職からの意見として

- ・給食費の滞納問題に関わる教職員の集金、会計の負担
- ・生徒指導上の問題
  - 配膳などに関わるいたずら、いじめなどの懸念
  - 授業時数、給食時間などの時間の確保、配膳室など場所の確保
  - 食育、アレルギー、食中毒、警報などへの対応
- ・期待すること
  - 地産地消、農業の活性化
  - 不登校児童・生徒の減少
  - 欠食の防止 など

教職員の声として

- ・課題や問題点
  - 給食費の徴収・滞納問題に関わる教職員の負担
  - 食物アレルギーへの別メニューの対応
  - 食中毒、異物混入への対応
  - 給食時間の指導、管理、運営に関わる不安
- ・期待すること
  - バランスのとれた給食の提供
  - 不登校の減少への対策として

菊崎会長:今のご説明につきまして何か委員のほうからご質問がありましたらお願ひします。

松山委員:完全給食を実施されている地域の教職員の方々のご意見を聞かせてください。

永保校長:今までの経験上、特に問題はなかったように思いますが、実施校にお

られる今中委員はどうですか。

今中委員：家庭弁当の方が身軽に動けますので、給食となると時間の制約は出てくると思います。ゆっくり食べる時間はないので、早く準備するとか早く食べるよう指導して対応しています。いろいろな課題を持ちながら実施しているという現状です。

宮木委員：子どもたちが弁当を食べているときに、先生の休憩時間というとらえ方でいいのですか。

永保校長：給食時間は給食指導ということになりますので先生の休憩時間とは異なります。給食導入となると給食指導の時間が長くなるということが懸念されます。

菊崎会長：ありがとうございました。

前回の委員会において、自校方式の判定で「設置困難」と思われた2校につきましては、現地を見ていただき「解決すべき問題が多いが、設置可能」ということになりましたが、今日は、その2校の校長先生にも来ていただいておりますので、計画案の場所で問題がないか直接伺おうと思っておりますので、よろしくお願いします。

・・・両中学校長説明（パワーポイントで配置図写す）・・・

菊崎会長：2校の校長先生に伺って、また私たちも実際に現地にお邪魔して、解決すべき課題はいろいろありますが、導入可能ということではよろしいでしょうか。

・・・全員了承・・・

菊崎会長：ありがとうございました。続きまして奈良市PTA連合会の皆様よろしく申し上げます。

・・・PTA連合会からの説明（畑中会長）・・・

○完全給食導入について感じる事。

- ・本当に実現するのか、導入するのであれば一斉にしてもらえるのか。
- ・現在弁当給食の導入されていないところは無理なのではないか。
- ・給食室の設置場所はないのではないか。
- ・給食費の徴収、授業時数の確保は可能なのか。
- ・完全給食になればいいと思うが、部活動をしている生徒に関しては量が

足りるか心配である。

#### ○要望

- ・ 早期の導入。
- ・ 導入の順番はどうか。順番の決定理由も説明してほしい。
- ・ 給食室の設置場所、搬入経路の事前説明をしてほしい。
- ・ 栄養バランスのとれた給食。
- ・ 地産地消の取り入れ、食育の推進。
- ・ アレルギーの対応。

菊崎会長：今のPTA連合会からのご説明について何かご質問はございますか。

宮木委員：飛鳥中学校のほうでは弁当給食を導入されていると聞いています。現状はどのような感じですか。

PTA連合会（瀧上副会長）：試食会に参加しましたが、内容的には非常に良かったです。バランスもとれていて大人の私が食べても満足感がありました。参加された保護者の方にも概ね好評でした。では現実にこの1食400円の弁当がどれくらい利用されているのか、校長先生に聞きましたところ、1日平均4食ということでした。なぜ利用率が伸びないのかを聞きますと、弁当の予約注文から食べるまでの手間が、子どもたちにも先生方にもあるからということでした。他には思春期の女生徒には量が多いのではないか、弁当箱のデザインが悪いのではないかという意見もあるということでした。試食会後の保護者の話し合いの中には、一人だと食べにくいので一度子どもたちみんな一緒に食べさせてみてはどうかという意見が出ましたが、全員が一度となると、配膳などに考慮する必要があるようでした。

菊崎会長：ありがとうございました。中学校長会、PTA連合会からご説明をいただきましたが、何かご質問はございますか。

松山委員：導入を一斉というのは難しいと思うのですが、順番についてはどのような話ができましたか。

PTA連合会（岡田副会長）：やりやすいところ、コストのかからないところからということになるのですが、弁当給食を導入出来なかった5校については、また待たされるのかという意見が出てくると思いますので、十分保護者が納得できる理由を説明してほしいという意見が出ました。

松山委員：給食の量には個人差があると思いますが、どうすればいいという意見が出ましたか。

PTA連合会（岡田副会長）：個人差は大きいので、小学校のときと同じように、量を食べられない子が減らした分を、よく食べる子が分け合うという調整は可能だと思います

宮木委員：小学校でやっている給食をそのまま中学校ですというので良いのか、中学校ではこうしてほしいという意見などはありましたか。

P T A 連 合 会（瀧上副会長）：一番出ているのは、とにかく給食をしてほしいということでした。小学校のような給食をベースに育ち盛りなので量を少し考慮していただければいいという話が出ていました。

菊崎会長：子どもたちの年齢に合わせた食事摂取基準というものがありますので、それを配慮した給食にはなると思います。

松山委員：給食費の滞納の問題ですが、校長先生の責任ですというのをやめれば問題解決すると思います。

菊崎会長：中学校長会の方も P T A 連 合 会 の 方 も 課 題 は 多 い で す が、 期 待 す る こ と も 多 い の で、 問 題 点 を ク リ ア し て い っ て、 出 来 れ ば 完 全 給 食 を と 期 待 を い た だ いて いる と い う こ と で 理 解 さ せ て い た だ いて よ ろ し い で し ょ う か。

P T A 連 合 会（畑中会長）：私たち保護者は完全給食の実現を望んでいますが、教職員の方の負担が増えないようにという思いもありますので、そのあたりのことがどのように進んでいるのかがわかるように情報発信しながら進めてほしいです。

P T A 連 合 会（岡田副会長）：長年、保護者の希望してきた完全給食の実施ですが、これを導入することによって、先生方の負担が増え、教育の質の低下になるようなことがあれば本末転倒ですので、奈良市の方で万全な体制を整えていただいて、安心安全な給食を実施していただけるようお願いします。

永保校長：弁当から給食となるといろいろな問題や不安がありますが、出来るだけ負担の少ないようにやっていただきたいと思います。

菊崎会長：ありがとうございました。それぞれの立場からの声を聞かせていただき大変参考になりました。

では、次のテーマということで、今回は、地理的な条件としては、自校方式で実施可能ということで、次に「食育」や「防災」「食の安全」の視点からの評価をしていただきましたが、委員から評価項目について追加がありましたので、事務局で整理をしていただきました。

追加項目の中に「初期投資」や「運営コスト」についての発言がありましたが、第3回と第4回の検討委員会で議論しておりますので、それ以外を評価するというので進めさせていただこうかと考えておりますがよろしいでしょうか。

．．．各委員の了承．．．

菊崎会長：それでは、パワーポイントで表示していただいております項目について審議していきたいと思います。前回評価いただいたうち、「食育」と「地産

地消」につきましては、事務局に奈良市の現状についてお聞きし、その視点で見ると少し評価が変わるのかなと思います。

まず、「食育」の評価で自校方式がA、親子方式とセンター方式がC評価になっておりましたが、食育指導は基本的には給食を食べるときから始めるものなので、C評価ではなくB評価かなと思うのと、「地産地消」につきましても自校方式がA、親子方式がB、センター方式がC評価になっておりましたが、奈良市の学校給食用食材は今後も学校給食会が一括して学校へ納品されるということですので、各方式ともB評価だと思いますが、いかがでしょうか。

・・・各委員了承 評価を変更・・・

菊崎会長：では、前回「食の安全」まで評価しましたので、「日常の運営統制」から評価をしていきたいと思います。

・・・各項目順に評価・・・

菊崎会長：「児童・生徒への負担」と「教職員への負担」については、前回あげさせていただきましたが、申し合わせで「同じ土台のものは比較をおこなわない」ということなので、どの方式でも同じ負担であると思いますので、評価をしないということではよろしいでしょうか。

・・・各項目順に評価・・・

菊崎会長：ありがとうございました。

本日は、ここで終わりたいと思います。

次回は最終ということで、今まで議論してきた内容を事務局でまとめたいただいた報告書の素案を提示していただき、内容を検討していきたいと思えます。

次回開催日は、9月20日午後2時から市役所第23会議室で開催させていただきますので、よろしくお願ひします。

事務局（山本）：ご存知のとおり議会の関係で、急遽、時間が変更になる場合もありますので、お含みいただきますようお願いいたします。

今回の会議録の署名は、菊崎会長と松山委員となりますので、よろしくお願ひします。本日はありがとうございました。

奈良市立中学校給食導入検討委員会運営要領第10条第2項の規定により、  
ここに署名する。

平成 年 月 日

.....

.....